

## 木枯らしや 初めて下る 老いの坂

一昨年11月、喜寿になったオケラは、昨年、順当に満七十八歳になりました。本人はただ一つ歳が増えるだけで、その他は何も変わらないような心算でいましたが、折からの運転免許書き換えで、実技試験を伴うチャレンジ講習を受け、あろうことか失敗致しました。悪条件、不運など、言い訳は沢山ありますが、やはりこれが現実。失敗したら運転を止めると決めていたことでもあり、潔く免許を返上し、永年一緒に遊んでくれたスイフトも、親元のスズキに戻しました。運転歴丁度30年、昨今の高齢者の事故の話聞く度に、無事故で終わって良かったなあ、改めて安堵しております。徒歩や、精々が自転車での暮らしになれば、さぞや不便で寂しいだろうと覚悟をしていた日々が、意外に平穩に過ぎて行くのには、却って不思議な気さえしますが、今ではこんな暮らしが、私達の健康を支えてくれているのかも知れません。メケラは、一言で言えば相変わらずですが、オケラより元気とは言え、やはり老いの流れにさらされて、コープ等の食材宅配サービスを受けるようになりました。老いの話は、これまで多くの先輩から度々聞き、それなりの想像をしてきましたが、こうして実際に我が身に降り掛かって来ると、初めての景色、折角の初体験も、楽しむゆとりはなく、唯あれよあれよと流される毎日。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

平成二十九年元旦

オケラ・メケラ